

難民を知り、共に生きる社会を考える



「私はナディラ、3歳と4歳の子供の母です。シリアの自宅にいた夜8時ごろでした。突然、爆発音がしたのです。ロケット弾でした。子供たちを連れて必死で国境を超え、イラクの難民キャンプにたどり着きましたが、着の身着のままで逃げてきて、お金も有りません。今はただ、安全が欲しいです。ただ一日でもいい、苦しみのない日が欲しいのです。」

21世紀最大の人道危機とも言われるシリア難民問題。2011年に始まった紛争は未だ治まっておらず、人口の半数以上が国内外に避難を余儀なくされる状態にある。難民キャンプに流れてきた人々は提供される最低限の食事で飢えを凌ぐ日々が続く、一向に将来への展望が開けない中で、塗炭の苦しみにあえいている。

難民の立場と暮らしの現状、守られるべき人権、そして彼らが今を生き、そして未来を生きるためにどんな支援が必要なのか。現地と関わる非営利団体の報告に耳を傾けたい。



「現地ルポ・シリア難民は今」現代ドキュメンタリーシリーズ

主 催 アストライアの会

協 力 日本セカンドライフ協会

ゲスト NPOピースウィンズ・ジャパン 牛田真也子さん

日 時 令和3年2月28日（日）午後2時から5時

会 場 としま区民センター会議室401（池袋東口約5分）

費 用 お茶代込み参加費二千円

連絡先 TEL049（258）3218 松原まで

備 考 10日前までにお申し込みを info@asutoraia.com

